

天皇沖縄訪問反対！国鉄-三里塚- 沖縄を貫くたたかいで中曽根を打倒しよう

日刊 動労千葉

87. 5. 22

No. 2556

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二五三五六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

5.15沖縄平和行進に参加

五月十五日、沖縄が「返還」されて十五年になる。しかし、その内実は、沖縄の基地はますます固定化され、米軍の支配に加えて日帝・政府の二重支配という状況である。そしてまた、沖縄は、日米にとって侵略最前線基地とてますます拠点にされようとしているのが現実だ。
この五月八日から五月十五日までの八日間、沖縄護憲・反安保県民会議の主催で行われた第十回5.15沖縄平和行進に、動労千葉として初めて参加してきたので二回にわたって報告します。



平和の願いをこめて平和行進団の結団式を行う
(5月8日、那覇市官公労会館)

などの被害が相次いでいる。
また、平和行進が行われた時は、青森県三沢を中心にした日米軍事訓練が行われており、嘉手納基地からもF16戦闘機がその軍事訓練の参加のためにバンバン飛びかうという状況で、まさに沖縄は戦場そのものになっている。

沖縄-本土の行進団、 動労千葉の登場に注目

そうした状況のなかで、反戦・平和をかちとるべく、また、沖縄の人々の反戦・平和の願いがふみにじられた「本土復帰」の現実を直視するべく八日間の平和行進を本土の代表団、沖縄現地の人々と共に貫徹してきた。毎日二〇Kmの行進、そして夜の交流会に参加して沖縄の労組の人々からの「動労千葉はがんばってますね」「松崎は絶対に許されない」という声の特に強かった。

今日、原則をふみはずした労働運動が横行するなかで、やはり原則を貫いたたかっている者こそ支持も得られるし勝利できると確信した。

また、今秋にも沖縄県民をさかなでするように国体の名をかりて天皇が訪沖しようとしている。

沖縄でのたたかいが燃えあがることは必至である。国鉄-三里塚-沖縄を貫いた中曽根打倒のたたかいを強めよう！

中東-アジアへの 最前線基地-沖縄

今日、沖縄は、マスコミで盛大にリゾートゾーンのような私たちでもちあげられ、日米の軍事拠点であることをうすめようと宣伝されている。

しかし、沖縄はそんな宣伝とはかけはなれた基地の島としてますます強化されているのが現実だ。

今もなお、在日米軍施設の七五%が沖縄に集中し、核を積んだ原子力潜水艦が日常的に出入りし、県道は封鎖されて砲撃実弾訓練が行われ、今年に入ってからも着弾地から飛び散った実弾の破片が民家の屋根を突き抜け、化粧をしていた女性の髪をつきぬけ重傷を負わせたとか、民家の給水塔にあたり水が全部流出する